

第3回検討委員会の意見とその対応方針(案)

第3回検討委員会の意見とその対応方針

	検討委員会の意見	回答・対応方針	対応資料
1	<ul style="list-style-type: none"> 平和公園再整備基本計画（平成6年）で広場のゾーンの中に「将来的には多目的広場として整備する」とあるが、「将来的に」とはいつなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> （当日回答）「将来的に」の時期的なものを明言したものはないが、平成6年の基本計画を受け、スポーツ施設を統合していく考えのもと、平成11年に総合運動公園を供用開始している。 	—
2	<ul style="list-style-type: none"> 西地区の基本方針（案）のタイトルで、「交流・憩いのゾーン」もしくは「平和を感じ、交流するゾーン」という提案があるが、どう違うのか。 	<ul style="list-style-type: none"> （当日回答）「平和であるからこそスポーツができたり、憩うことができる、あるいはスポーツを通して交流することができる」というイメージを言葉として表現するときに、「交流や憩い」を強調した案と、東地区の基本方針と語呂を合わせ「平和を感じ、交流するゾーン」の2つの案を今回提示した。 	—
3	<ul style="list-style-type: none"> 平和ということは安全・安心である。そういった意味で、基本方針（案）の中に「防災性」に関する記述があまりない。 長崎で心配されるのは、気候変動による集中豪雨・浸水である。防災性に関する具体的な計画があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> （当日回答）浦上川は県が河川改修を行い、長崎大水害と同レベルの雨が降っても基本的には問題ないようになっている。また、ハザードマップを作成している。防災に関しては、基本方針（案）の②に言葉として入れているが、整備方針（案）にも盛り込めないか検討したい。 	—
4	<ul style="list-style-type: none"> 平和公園再整備基本計画（平成6年）の広場のゾーンについて、将来的に陸上競技場は「多目的広場」に、庭球場・ソフトボール場・弓道場は「緑の森」として整備することとなっているが、策定当時、それぞれの競技団体に対し説明を行っているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成6年の基本計画策定時には、長崎市体育協会にも委員として参画していただいていたが、個別に競技団体と協議したかについては資料が残っていません。 	—
5	<ul style="list-style-type: none"> 西地区は、平和公園の一部であるということも位置付けるためにも、平和という言葉の基本方針（案）に入れた方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針（案）について、「平和を感じ、交流するゾーン」をコンセプトとし、基本方針の説明文に「平和」という言葉を可能な限り追記する。 	資料2：P3
6	<ul style="list-style-type: none"> 西地区と東地区の動線が分断されている中で、城山小学校までを意識した整備を行ってほしい。また、浦上川の役割や歴史も意識して、整備をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 旧城山国民学校校舎や浦上川との連携を意識した記述を基本方針（案）やゾーン別の整備方針（案）に追記する。 	資料3：P2

第3回検討委員会の意見とその対応方針

	検討委員会の意見	回答・対応方針	対応資料
7	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針（案）の説明文やゾーン別の整備方針（案）の中で、「平和」という表現をなるべく取り込んだ書き方をした方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針（案）の説明文やゾーン別の整備方針（案）に「平和」に関する表現を追記する。 	資料2 : P3
8	<ul style="list-style-type: none"> 平和公園（西地区）の再整備では、樹木が市民の身近な木として感じられるように、学校単位や自治会単位でもいいので「自分たちの森」という位置付けになると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 緑化の考え方（案）の中で、緑化の形成方法として、市民参加などの方策について追記する。 	資料4 : P10
9	<ul style="list-style-type: none"> 葉っぱや幹に水分が多いイチョウの木は、防災の意味で良いと聞く。実をつける果樹などを楽しめる木や、匂いをつける木などの魅力もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 緑化の考え方（案）の中で、防火効果に寄与する樹種や多様性が感じられるような配植などに関する表現を追記する。 	資料4 : P10
10	<ul style="list-style-type: none"> 既存のスポーツ施設の移転を競技団体をお願いするにあたり、まだ要望も上がっていないニュースポーツ施設を配置することは、想定すべきではないと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> （当日回答）既存のスポーツ施設をできるだけ西地区に配置していくことが基本となる。その上で、利用しにくい高架下を有効活用するという意味でアーバンスポーツという表現をさせていただいた。現在、個別に競技団体と話をさせていただいているため、表現を注意する。 	資料3 : P2
11	<ul style="list-style-type: none"> 各ゾーンにおける基本方針（案）の対応表について、基本方針②とBゾーンやEゾーンの対応は、浦上川との連携が重要だという意見があったことから、B・Eゾーンも◎としてよい。 	<ul style="list-style-type: none"> （当日回答）B・Eゾーンについて、◎に変更する。 	資料3 : P2
12	<ul style="list-style-type: none"> 過剰な緑化は、隠れ場所を作って利用者の安全性を阻害したり、後々の維持管理のことも考えるとデメリットもある。 	<ul style="list-style-type: none"> （当日回答）本基本計画では、緑化の考え方を整理することになるため、樹種の選定や間隔などについては、維持管理の面を踏まえ、設計の段階で専門家の方と協議しながら、検討したい。 	資料4 : P10

第3回検討委員会の意見とその対応方針

	検討委員会の意見	回答・対応方針	対応資料
13	<ul style="list-style-type: none"> Gゾーンの庭球場は、左右を分断する形で残っている。予算の関係はあるが、一体的に庭球場も再整備することは難しいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> (当日回答) 庭球場については、道路計画に支障をきたす部分のごく一部であり、耐用年数もあることから、道路計画に支障をきたさない施設は、そのまま残すことを前提としている。 	—
14	<ul style="list-style-type: none"> 緑化について、どのような樹木を植える予定か。現状、街路樹を多く植えているが、落葉樹の場合、清掃などの維持管理が大変である。 	<ul style="list-style-type: none"> 本基本計画では、緑化の考え方を整理することになるため、具体的な樹種などについては、設計の段階で検討することになるが、維持管理の面にも配慮し検討したい。 	資料4 : P10
15	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ以外での市民活動や飲食店の設置などの考え方について、ゾーン別整備方針の中で散りばめられてはいるものの、あまりイメージが湧かないので、考え方があれば教えていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> (当日回答) CゾーンやDゾーンに来園者の利便施設として、官民連携 (Park-PFI) による飲食施設などを想定しているが、具体的な内容は整備の段階で検討したい。 	—
16	<ul style="list-style-type: none"> 高架下空間は、雨に濡れない貴重なスペースであり、この空間を自転車道として確保し、自転車利用の促進を検討できないか。 	<ul style="list-style-type: none"> (当日回答) 長崎駅や長崎スタジアムシティ、平和公園などが位置する都心部の移動手段として自転車の活用も考えられるため、本基本計画とは別に、まちづくり全体の中で検討したい。 	—